

令和3年度(令和2年度実績) 総合評価書 <施設名 発達支援センター ひまわり>

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 児童発達支援事業及び基本的動作指導、適応訓練、相談・検診・育成支援 心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び検診を行い、その育成を支援する。 (2) 施設及び設備の維持管理

4. 採点表								
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(一点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	施設の特性から評価対象外の項目				
			②利用人数					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(20点)	20	仕様書以上:20~16点、仕様書に忠実:15~12点、仕様書の一部不実施(軽微):11~9点、仕様書の一部不実施(中程度):8~4点、それ以下:3~0点	・別紙の事業評価表のとおり	仕様書以上 18点	コロナの中、閉館中にも電話連絡による助言を実施したほか、再開後も適切な対策をした上で療育を実施している。内容もコロナを踏まえた工夫により充実した療育や事業が実施されている。療育を必要とする子供が増える中、市と協力して療育体制を構築している。	18点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(20点)	20	内容・事業数等が期待以上:20~16点、内容・事業数等が例年通り:15~12点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:11~9点、内容・事業数等が例年より劣る:8~4点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:3~0点	・別紙の事業評価表のとおり	内容・事業数等が期待以上 18点	コロナの為地域との交流、連携を中心に事業の中止が相次ぐ中でも、各関係機関と連携し、支援体制の構築・維持に取り組んでいる。コロナの中にあっても専門職員の派遣事業といった新規事業を行う等積極的に取り組んでいる。	18点

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理 状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	10	①清掃	・職員によるセンター内の清掃 毎朝 ・玩具の消毒・療育室の清掃と消毒(午前1回、午後2回) ・シルバー人材センターによる館内清掃 週3日 ・床面ワックスがけ 年1回(3/24)	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。	10点
				②保守・点検	・電気設備点検を年3回以上実施(5/27、7/31、10/22、1/28) ・職員による遊具の点検を週2回(月・金曜日)実施 ・業者による遊具の超音波保守点検を年2回実施(7/2、3/3)	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。	
				③保安・警備	・消防用設備等点検・外観及び機能点検を年2回以上実施(7/30、1/22、3/16) ・消防訓練を年2回実施(12/7、3/9)	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。	
				④小規模修繕	①エアコン修理(16,500円) ②床落ち修繕(8,800円) ③火災報知器取替(13,981円) 合計39,281円	適正 (普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
				⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	・建物が老朽化しているため、危険のないようにこまめに修繕している。また、雨天時は雨漏りがするため、被害が拡大しないよう、その都度対応している。園庭及び園舎周辺の草刈り・樹木の剪定や害虫駆除をこまめに行っている。園舎前駐車場のアスファルトの剥がれや凹凸については市に修繕対応していただいた。	適正 (普通) 2点	危険箇所を把握した場合は必要に応じて市と協議しつつ適切な対応がなされている。	
	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・多治見市社会福祉協議会文書管理規定により、管理・保管。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。	11点
					・空調の適正な設定管理(28℃)利用者にも協力を呼び掛けている。利用者・職員不在の部屋の消灯を徹底。 ・パソコンは使用時のみ電源を入れる。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。	
					・保育園の跡地の為、全面的に整備されているとは言えないが、利用において不都合が生じないよう配慮・介助を心がけている。	期待以上 3点	老朽化によりバリアフリーが不十分な施設で障がい児に事故がないよう配慮しながら療育を実施している点を評価。	
					・備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理。破損備品は、報告の上廃棄処分。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。	
					・個人情報や台帳は鍵付きロッカー・キャビネット収納 ・暗証番号でUSB保管 ・USB・個人ケースファイル等個人情報は、施設外持ち出し禁止	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故無し	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	・56,392,200(収入)÷64,061,503(支出)×100≒88.0%	100%未満 3点	配点基準に基づき評価	3点

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・個別面談(1回/半年)、グループ懇談、アンケート(2回/年)や日常会話から保護者の要望等を把握、検討、共通理解し、必要に応じ改善(安全の為登園時の駐車場への誘導職員の配置等)。保護者アンケートの質問等は文書での回答に加え掲示により周知。 ・希望者に管理者面談実施。児の成長の見通し、療育終了目安やその手続きの流れ、民間事業所の利用や医療機関の受診等への疑問や感染対策への不安に対し個別に相談対応。	期待以上 9点	通常時の対応に加え、コロナ禍という特殊な状況において療育の中で対応していくとともに、保護者に寄り添う対応を実施している。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・特になし	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情なし	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・H26年度よりプログラム変更。療育対象となった場合、すぐに受け入れ、早期療育支援に繋がると共に、待機児童をなくした。 ・H30年度より保育所等訪問支援事業を開始。要支援児も他児と一緒に地域で育ち合えるよう、アウトリーチ支援を重点的に実施。 ・コロナ対応として玄関にセンサー式体温計を設置、職員及び利用者の体調管理を行い、マスク着用、手指消毒、消毒作業の徹底等感染防止対策を講じた他、各所でアクリル板衝立を設置する等、安心して通園できる環境を整えた。	期待以上 14点	従来への対応に加え、コロナ禍という特殊な状況において安心して療育を受けられる状況の整備に努めている。	14点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	・提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	・指示等はなし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				87点
								新型コロナウイルスの影響を受ける中、熱意をもって取り組んでおり、対応を工夫して療育の充実に努めている。ニーズに対応する為の新規事業にも取り組んでおり、高く評価するもの	極めて良好